

渡航目的

本渡航の目的は、理論としての「文化心理学」、研究アプローチとしての「オートエスノグラフィー」、方法としての「Auto-TEM」に関する議論を行い、その理解を深めることであった。その目的達成のために、デンマークおよびスイスにおける研究滞在を行った。

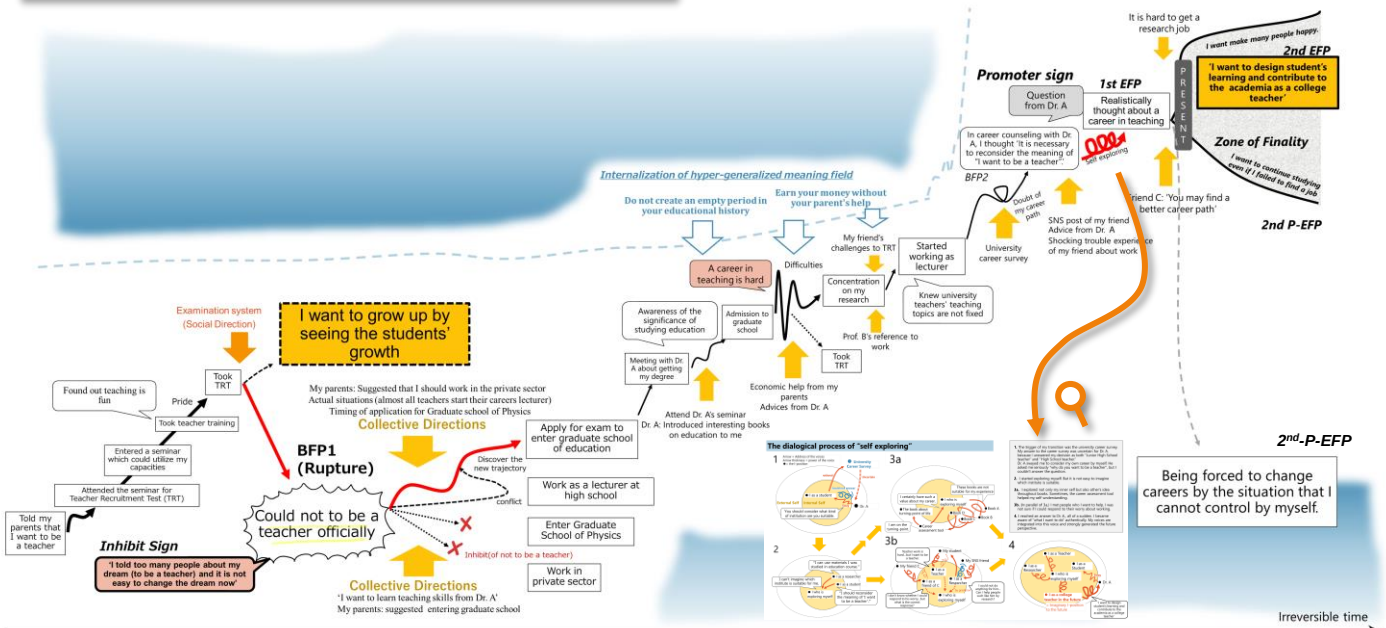
渡航成果：Auto-TEMの進展

これまでのAuto-TEMでは、十分に2nd-P-EFP(右下)を言語化できていなかった。また、自身のキャリアに対する社会文化的諸力のうち、何が「更一般化された意味」であり、何が「集約的文化の内化」であるのか十分に整理できていなかった。これらに対する理論的な理解が深まったことが、もっとも大きな成果であった。

オートエスノグラフィーは、「一般的な文化的経験について、より広い理解を得るための個人的経験の記述および分析」(Tangene, 2017, p.40)と定義される。これは自叙伝(autobiography)的な特徴とエスノグラフィー的な特徴を持つ(Ellis, Adams, & Bochner, 2011)。つまり、個人的経験を記述・分析する(自叙伝的な特徴)ことを通して、それらの経験が埋め込まれている文化的文脈を理解していく(エスノグラフィー的な特徴)。

TEMは、非可逆的時間(Bergsonの用語)と共にある人間のライフを描くための文化心理学の方法である。通常、二次元を用いて描かれ、縦軸は実現したこととしていないこと、横軸は非可逆的時間を表す。

オートエスノグラフィーの方法としてのTEM
= Auto-TEM



渡航先1 デンマーク (2019.08)

渡航期間：2019年8月18日～2019年9月2日 (計16日)

渡航先：デンマーク(コペンハーゲン、オールボー)

受入れ先教員：Jaan Valsiner教授 (オールボー大学)



国際理論心理学会

国際理論心理学会では、オートエスノグラフィー研究の方法論に関するポスター発表を行った。イメージネーション、現象学的心理学、バフチンの理論に関するシンポジウムがあり、博士論文研究の発展に対して大きな知的刺激を得ることができた。

サマースクール "Cultural Psychology and Liminality"

心理的移行、発達最近接領域、イメージネーション、聖地巡礼、街の構造等、「ある状態からある状態へ移行する際の境界」について、様々な角度から講演や議論が行われた。私自身も、オートエスノグラフィーの研究過程における「日常生活経験の発達」と、それに対する「分析(理論的理解)の発達」がどのように関わるかについて話題提供した。

デンマークの「ヒュッゲ」概念について知ることができた。英語では、feel at homeという意味だということだ。写真の建物のアートは、白い線に隠された移民の顔と共に「ヒュッゲ」と書かれている。

Jaan Valsiner教授のLiving Room Seminar

受入れ先教員であるValsiner教授の自宅でのセミナー。私も「対話的自己理論」(Dialogical Self Theory)を用いたオートエスノグラフィー*について話題提供をし、助言を受ける機会を得た。

*研究成果のAuto-TEM図右下のself-exploringの分析。

渡航先2 スイス・ブラジル (2020.03)

渡航期間：2020年3月5日～2020年3月19日 (計15日)

渡航先：スイス(ヌーシャテル)

受入れ先教員：Tania Zittoun教授 (ヌーシャテル大学)



講義"Adult learning at work"への参加

職場での学習についての講義に参加した。「協同的学習は個人的学習と比べて効果的なのか?」「国の違いが考え方の違いに影響するか?」「何が良い学びといえるのか?」といった内容について、Engeströmの学習理論を題材に議論した。

Zittoun教授とのミーティング

受入れ先教員であるZittoun教授と、集約的文化と個人的文化について議論した。文化心理学では、どのような現象を「社会的」なものとして扱い、どのようなものを「個人的」としているのか。オートエスノグラフィーではどのような文化を描くことができるのかについての理解を深めた。

Advances in Cultural Psychology: Subjectivity in Society

Jaan Valsiner教授による文化心理学の入門講義であった。芸術の話から始まり、自己と主観性、そして、社会(世界)との関係について学んだ。新型コロナウイルスの影響下という間もあり、社会とパニックについての関わりも議論した。いかに言語化できない感覚を心理学で扱うかについても議論した。

ブラジル渡航(第3回TEA国際集会・第5回国際文化心理学会)研究発表を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、学会がキャンセルとなった。

